

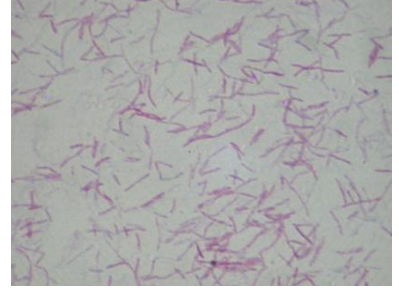
レジオネラ症



レジオネラってどんな菌？

レジオネラ属菌は本来土壌などの自然環境に生息する細菌ですが、**冷却塔冷却水***や**循環式浴槽水**などの人工環境水においてアメーバを宿主として増殖します。感染するとレジオネラ症を引き起こします。

※：ビル空調用冷却水で冷却塔で放熱しています



レジオネラ属菌



レジオネラ症とは？

レジオネラ症は、レジオネラ・ニューモフィラを代表とするレジオネラ属菌による細菌感染症で、主な病型は**劇症型のレジオネラ肺炎**と**一過性のポンティアック熱**です。レジオネラ肺炎は、高熱、寒気、胸痛、呼吸困難の症状が見られ、ポンティアック熱は一過性の症状で突然の発熱、悪寒、筋肉痛などがみられます。主に**レジオネラ属菌を含むエアロゾル**（空中に浮遊している小さい粒子）を**吸入することにより感染**します。国内で発生する患者の感染源は入浴施設が最も多く、加湿器、土木・粉じん作業、園芸作業との関連も指摘されています。

レジオネラ属菌を増やさないよう、日頃から**施設や設備の衛生管理**が重要です。

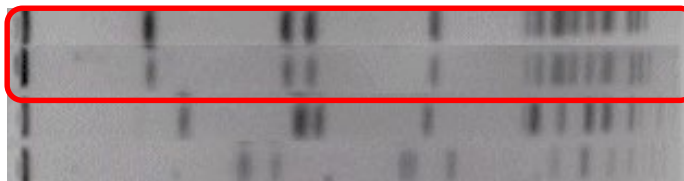


当所で行っている検査の紹介

当所は保健所等と連携し、市内で発生したレジオネラ症患者や利用していた施設のレジオネラ属菌検査を行っています。

患者や施設からレジオネラ属菌が分離されたら、菌の遺伝子解析を行い、その結果から患者の感染源を推定します。

冷却塔冷却水からの感染が疑われる事例（平成25年）では患者と利用施設の冷却塔冷却水（以下「冷却水」）からレジオネラ・ニューモフィラ 血清群1が検出されました。遺伝子解析の結果が下図になります。



- 1：患者由来
- 2：2F系統冷却水由来①
- 3：2F系統冷却水由来②
- 4：1F系統冷却水由来

遺伝子解析の結果、1の患者と2の冷却水から分離されたレジオネラ属菌が同じバンドパターン（バンドの本数と位置）を示し、同じ遺伝子型であることがわかったため、利用施設で感染したものと推定されました。